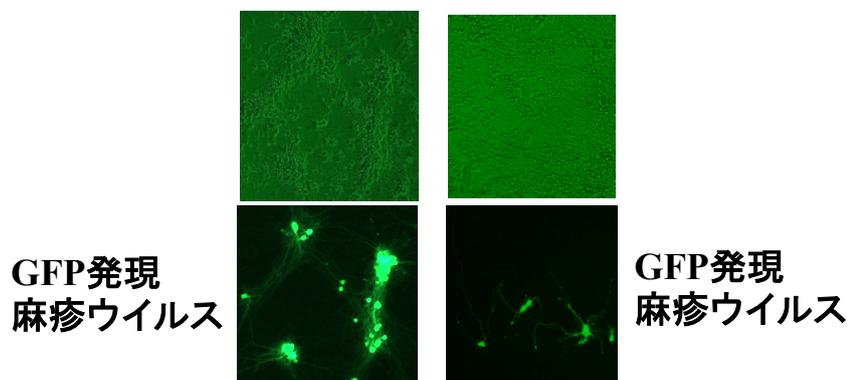


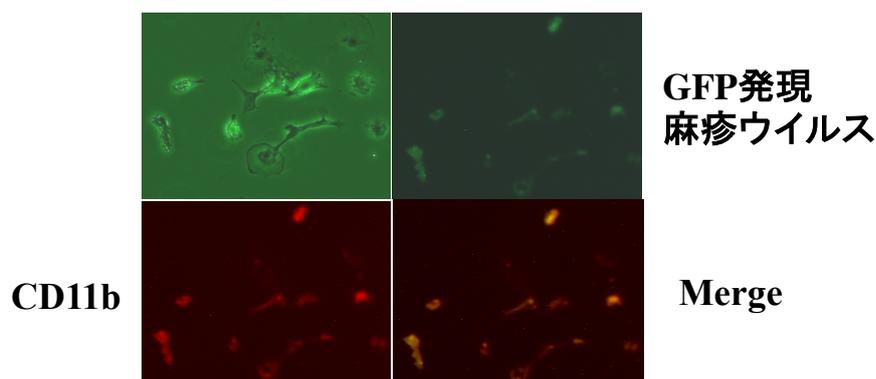
麻疹ウイルスの神経系細胞への感染のメカニズム

研究分担者：九州大学大学院医学研究院ウイルス学 柳 雄介

ニューロン初代培養へのGFP発現組換え麻疹ウイルス野生株の感染 マウス ヒト



ヒト型SLAM発現遺伝子改変マウス由来のミクログリア初代培養への GFP発現組換え麻疹ウイルス野生株の感染



解 説

1. T細胞が欠損しているヌードマウスに、GFP発現組換え麻疹ウイルス野生株を脳内接種すると、感染3カ月後のマウス脳にGFP発現を認めた。組織病理学的解析から、麻疹ウイルスが感染している細胞は主にニューロンであった。
2. 麻疹ウイルス野生株は、マウスおよびヒトのニューロン初代培養に感染した。
3. 野生型マウス由来のミクログリア初代培養には麻疹ウイルス野生株は感染しなかったが、ヒト型SLAM発現遺伝子改変マウス由来の初代培養には感染した。
4. 麻疹ウイルス野生株は、特別な変異の存在なしに、ニューロン(SLAM非依存性)とミクログリア(SLAM依存性)に感染できると考えられる。